

# G-SHOCK MR-G

取扱説明書

User's Guide

用户说明书

用戶說明書

5625(MRG)\*JEKH

本機は、Bluetooth® に対応したスマートフォン等と通信し、時計の時刻を合わせるなどの機能を持っています(モバイルリンク機能)。

1. 本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。

詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

**<https://world.casio.com/ce/BLE/>**

2. 各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。


Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

✔ **重要**

- こまめに時計の文字板に光を当てて充電してください。

 光で充電 (ソーラー充電)…J-15

本機の詳しい取扱説明書 (操作ガイド) およびQ&Aについては、下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://world.casio.com/manual/wat/>



# この時計の特長

## ◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

→ J-15

## ◆正確な時刻がわかります

標準電波の受信やスマートフォンとの通信により、正確な時刻を表示します。

→ J-18

## ◆2つの時刻を表示できます

現在時刻の他に、別の時刻を小窓に表示できます。

→ J-20

## ◆ストップウォッチとして使えます

経過時間を1秒単位で24時間まで計測できます。

→ J-20

## ◆タイマーとして使えます

設定時間をカウントダウン計測し、残り時間が0になると電子音でお知らせします。

→ J-21

## ◆アラームを設定できます

設定した時刻になると、電子音でお知らせします。

→ J-21

# 安全上のご注意

## 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

---



**危険**

死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。

---



**警告**

死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

---



**注意**

軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

---

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。





●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。

# 危険

## 二次電池について

---


-  本機から二次電池を取り出さない。  
発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。
-  二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に依頼する。  
指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。






## スキューバダイビングに使用しない

---

-  本機をスキューバダイビングに使用しない。  
本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

## 分解・改造しない

---

-  本機を分解・改造しない。  
けがの原因となります。

## 他の電子機器への影響について

- ⊘ 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従う。使用禁止の場所で、使用しない。

本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となります。

- ⊘ 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となります。

- ❗ 心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離して使う。

心臓ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。異常を感じたら直ちに本機を体から離し、医師に相談してください。

- ❗ 満員電車の中など混雑した場所では、無線機能をオフにするか機内モードにする。

付近に心臓ペースメーカーなどを装着している方がいると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

# 注意

## お手入れについて

---



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

## かぶれについて

---



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

## かぶれについて

---

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

## ご使用にあたって

---



時計の表示は、安全な場所で確認する。

思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

## ご使用にあたって

---



**時計の着脱に注意する。**

バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。



**就寝時は時計を外す。**

思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



**小さなお子様と接するときは、時計を外す。**

お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。



**時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。**

シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との間隙に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

# 目次

この時計の特長 .....	J-2
安全上のご注意 .....	J-4
光で充電 (ソーラー充電) .....	J-15
充電の方法 .....	J-15
パワーセービング機能 (節電機能) .....	J-16
充電に関する警告 .....	J-17
時刻合わせ (概略) .....	J-18
モードの種類と切り替え .....	J-20
病院内、飛行機内でのご使用について .....	J-22
文字板の表示 .....	J-23

時刻合わせ (標準電波) .....	J-24
受信に適した場所 (標準電波) .....	J-24
自動受信 (標準電波) .....	J-25
手動受信 (標準電波) .....	J-26
りゅうずの使い方と設定操作 .....	J-27
ホーム都市 (タイムゾーン) の設定 .....	J-28
デュアルタイム都市 (タイムゾーン) の設定 .....	J-29
時刻や日付の手動合わせ .....	J-30
製品仕様 .....	J-31
都市(タイムゾーン)一覧 .....	J-35
ご使用上の注意 .....	J-38
無線に関するご注意 .....	J-45
お手入れについて .....	J-47

本製品で使用している電池について.....	J-49
金属バンドの駒詰めについて.....	J-50



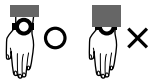
# 光で充電(ソーラー充電)

この時計は、ソーラーパネル(文字板)で発電した電気を充電しながら使用します。ご使用の際は、ソーラーパネルに光が当たるように心がけてください。

## 充電の方法



- 時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。
- 安定してご使用いただくために、月に1回、半日ほど日光に当てて充電することをおすすめします。
- 腕につけているときは、ソーラーパネルに衣類の袖がかからないように心がけてください。



## 注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。
- 以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

## パワーセービング機能(節電機能)

節電状態になるまでの所要時間	針の機能の状態
午後9時から午前6時の間に暗い場所に置いてから約1時間	秒針のみ12時位置で停止します。
暗い場所に置いてから約1週間	すべての針が停止します。

## 参考

- 節電機能は、以下の方法で解除します。
  - ボタンまたはりゅうずを操作する
  - 時計を明るい場所に置く

## 充電に関する警告

- 充電不足になると警告が現れ、使用できる機能が制限されます。警告が出たら速やかに充電してください。
- 充電切れのときに、しばらく光を当て続けると、秒針が反時計回りに動き57秒の位置で停止します。これは、充電を開始したことを示します。

<充電不足>

秒針が2秒ごとに動きます。



バッテリー充電警告機能

<充電切れ>

すべての針が停止します。



# 時刻合わせ(概略)

- 標準電波の受信やスマートフォンとの通信により、正確な時刻を表示します。
  - 標準電波の受信には、自動受信と手動受信があります (J-24 ページ)。  
普段は、「自動受信 (標準電波)」(J-25 ページ)で時刻や日付を合わせてください。
  - スマートフォンを使って時刻を合わせたい場合は、下記ウェブサイトにある取扱説明書 (操作ガイド) をご覧ください。  
<https://world.casio.com/manual/wat/>
  - スマートフォンと接続して時計の時刻合わせをしている場合は、標準電波の自動受信は省略します (ただし、1 日以上スマートフォンとの接続による時刻合わせができなかったときは、受信します)。
  - 標準電波の受信やスマートフォンの通信ができない地域では、手動で時刻や日付を合わせてください (J-30 ページ)。

## ✔ 重要

- 電波を受信して正しい時刻を表示するには、ホーム都市のタイムゾーンを使用する地域に設定する必要があります (J-28 ページ、J-35 ページ)。
- 針や日付の位置が適切ではないと感じられたときは、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧になり、針や日付の位置を補正してください。
- 標準電波を受信するのは、次の地域のうち電波が届く地域です。  
日本、中国、北米、ヨーロッパ  
詳しくは、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧ください。

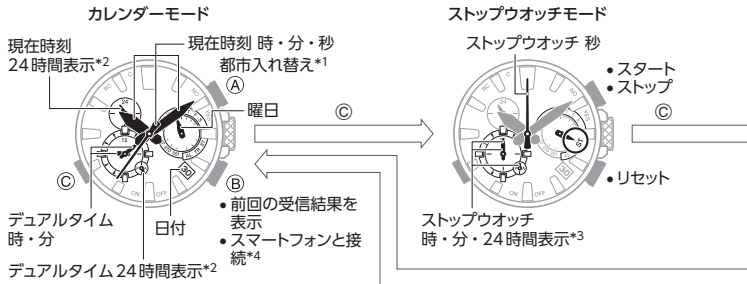
## ☰ 参考

- 日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。  
購入時の初期設定は以下の通りです。
  - タイムゾーン：+9 (東京)
  - サマータイム設定：AT (AUTO)
- 海外旅行など、日本以外のタイムゾーンで使用するときは、移動先に合うタイムゾーンを設定します。

# モードの種類と切り替え

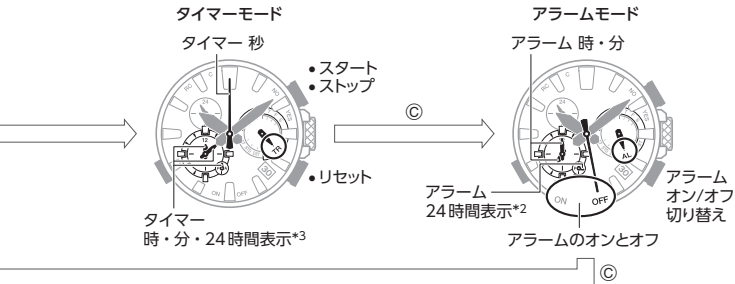
ボタンを押すごとに以下のようにモードが切り替わります。

- ③ ボタンを1秒以上押し続けると、カレンダーモードに戻ります。
- ① ボタンを押すと、ライトが点灯します。



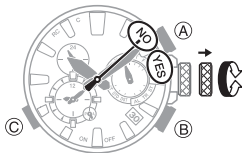
詳細はウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。  
<https://world.casio.com/manual/wat/>

- \*1 ①ボタンを3秒以上押し続けます。
- \*2 針の向きが右側のときは午前、左側のときは午後を示します。
- \*3 針の向きが右側のときは計測値が0~11時間、左側のときは12~23時間を示します。
- \*4 ②ボタンを2.5秒以上押し続けるとスマートフォンと接続します。



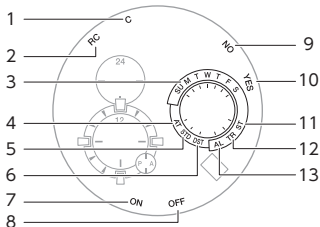
## 病院内、飛行機内でのご使用について

- 病院内や飛行機内など電波の受信やスマートフォンとの接続が禁止、または制限されている場所では、自動時刻合わせを無効に切り替えてください。
- 自動時刻合わせを無効にすると、標準電波の自動受信、およびスマートフォンとの自動接続ができなくなります。
- リューズをお使いの前に、「リュウズの使い方と設定操作」(J-27 ページ)をご確認ください。
- カレンダーモードでⒷボタンを押した後、リューズを1段引くと、秒針がY (YES) (自動時刻合わせオン)、またはN (NO) (自動時刻合わせオフ)を示します。自動時刻合わせを無効にするときは、リューズを回して秒針をN (NO)に合わせます。自動時刻合わせを有効にするときは秒針をY (YES)に合わせます。切り替えが終了したらリューズを元に戻します。





## 文字板の表示



1. スマートフォンと接続中
2. 標準電波を受信中
3. 曜日 (Su M(MO) T(TU)  
W(WE) T(TH) F(FR) S(SA))
4. サマータイムが自動で切り替わる

5. スタANDARDタイムを表示中
6. サマータイムを表示中
7. アラームがオンに設定
8. アラームがオフに設定
9.
  - 自動時刻合わせが無効
  - 自動時刻合わせに失敗
10.
  - 自動時刻合わせが有効
  - 自動時刻合わせに成功
11. ストップウォッチモードを表示中
12. タイマーモードを表示中
13. アラームモードを表示中

機能の詳細は、ウェブサイトの取扱説明書  
(操作ガイド)をご覧ください。

<https://world.casio.com/manual/wat/>

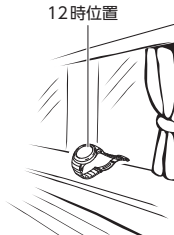
# 時刻合わせ(標準電波)

## 受信に適した場所(標準電波)

金属を避けて、時計の12時位置を窓に向けて置いてください。標準電波を受信させている間は、時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。

● 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。


- ビルの中およびその周辺
- 乗り物の中
- 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
- 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
- 高圧線の近く
- 山間部、山の裏側



## 自動受信(標準電波)

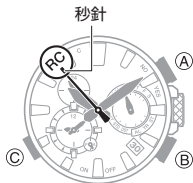
● 午前12時(深夜12時)から午前5時の間、受信に適した場所に、時計を置いたままにしてください。

- 電波の受信中は秒針が「R(RC)」を示します。
- 受信には約2分から約10分かかります。最大で約20分かかる場合もあります。
- 受信に成功すると、自動的に時刻と日付が合います。
- 自動受信をしないように設定できます。

 病院内、飛行機内でのご使用について…J-22

## 手動受信(標準電波)

- 時計とスマートフォンをペアリングしているときは、時計側でペアリングを解除してください。詳細は、ウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。  
<https://world.casio.com/manual/wat/>



- 1** 秒針が「R (RC)」(受信中) の位置に移動するまで、**②** ボタンを0.5秒以上押し続けます。秒針が「R (RC)」以外の位置に移動しても「R (RC)」に移動するまで押し続けてください。
- 2** 窓際に時計を置きます。
  - 電波の受信に成功すると、自動的に時刻と日付が合います。
  - 電波の受信には約2分から約10分かかります。最大で20分かかることがあります。
  - 電波を受信しやすいのは夜間です。

# りゅうずの使い方と設定操作

りゅうずをお使いになるときは、左回しにして、ねじ込みを緩めてください。

## ✓重要

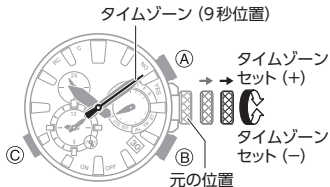
- 防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずりゅうずを元の位置に戻してください。
- サマータイム設定、この項目の詳しい操作については、ウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。

<https://world.casio.com/manual/wat/>

## ホーム都市(タイムゾーン)の設定

- カレンダーモードでりゅうずを2段引きます。
  - りゅうずを回して、目的のタイムゾーンに秒針を合わせます。

東京 (時差+9時間)の場合



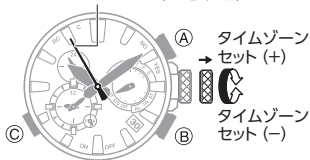
## デュアルタイム都市(タイムゾーン)の設定

### ● カレンダーモードでりゅうずを1段引きます。

- りゅうずを回して、時刻や日付を知りたいタイムゾーンに秒針を合わせます。

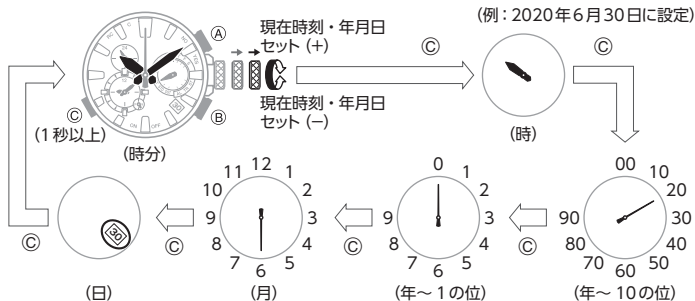
ニューヨーク (時差-5時間) の場合

タイムゾーン (55秒位置)



## 時刻や日付の手動合わせ

- リゅうずを2段引いた後、**◎**ボタンを1秒以上押し続けてから、時刻や年月日を合わせます。



- 詳しい操作については、ウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。  
<https://world.casio.com/manual/wat/>



# 製品仕様

- 精度 : 電波受信、またはスマートフォンとの通信による時刻合わせができない場合は、平均月差±15秒
- 基本機能 : 時・分(5秒ごとに針が動きます)・秒、日付、曜日、フルオートカレンダー(2000～2099年)
- 電波受信機能 : 自動受信・手動受信  
受信局自動選択機能(JJY、MSF/DCF77で対応)  
受信電波 コールサイン:  
JJY(40kHz/60kHz)、WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、DCF77(77.5kHz)、BPC(68.5kHz)  
OFF: 電波受信オフ
- デュアルタイム : 時・分、24時間制  
機能 : 27タイムゾーン、サマータイム自動設定機能、ホームタイムとの時刻入れ替え機能

- ストップ : 計測単位 1秒  
ウォッチ機能 計測範囲 23時間59分59秒(24時間)
- タイマー機能 : 計測単位 1秒  
計測範囲 24時間  
セット単位 1分  
タイムアップ時 10秒間の電子音で報知
- アラーム機能 : セット単位 時・分  
電子音 10秒間

モバイル：自動時刻修正機能

リンク機能 携帯電話探索機能

時計操作により、スマートフォンの音を鳴らす

ワールドタイム

約300都市の時刻を時計に設定する

ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能

サマータイム自動設定機能

スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える

タイマー設定

アラーム設定

針位置補正機能

通信仕様

Bluetooth®

周波数帯域 2400MHz-2480MHz

最大送信電力 0dBm(1mW)

通信距離 ～2m(環境により変化)

そ の 他 : LEDライト(スーパーイルミネーター、残照機能付き)、  
パワーセービング機能、針位置自動補正機能

使 用 電 池 : 二次電池

持 続 時 間 : 約5か月

#### 使用条件

光にあてないで、以下を使用

- ・Bluetooth接続時間：10時間/日
- ・アラーム：1回(10秒間)/日
- ・ライト点灯：1回(3秒)/日
- ・秒針スリープ：6時間/日

ただし、ライト使用条件やBluetoothの接続時間により、持続時間が短くなることがあります。

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

# 都市(タイムゾーン)一覧

時差	秒針位置	代表的な都市	受信電波
±0*	0	ロンドン、ダブリン	MSF、DCF77
+1*	1	パリ、ローマ	
+2*	2	アテネ、カイロ	
+3	3	ジェッダ、モスクワ	—
+4	4	ドバイ、アブダビ	—
+5	5	カラチ	—
+6	6	ダッカ	—
+7	7	バンコク、ジャカルタ	—
+8*	8	ホンコン(香港)、シンガポール	BPC
+9*	9	東京、ソウル	JJY
+10	10	シドニー、グアム	—
+11	11	ヌーメア、ポートビラ	—
+12	12	ウェリントン、クライストチャーチ	—

時差	秒針位置	代表的な都市	受信電波
+13	13	ヌクアロファ	—
+14	14	クリスマススイ島	—
-12	48	ベーカー島	—
-11	49	パゴパゴ	—
-10	50	ホノルル、パペーテ	—
-9	51	アンカレジ、ノーム	—
-8*	52	ロサンゼルス、バンクーバー	WWVB
-7*	53	デンバー、エドモントン	
-6*	54	シカゴ、メキシコシティ	
-5*	55	ニューヨーク、モンリオール	
-4*	56	ハリファックス、カラカス	
-3	57	リオデジャネイロ、ブエノスアイレス	—
-2	58	フェルナンド・デ・ノローニャ	—
-1	59	プライア	—

\* 標準電波を受信できるタイムゾーンです。

## 参考

- この表は2019年7月現在作成のものです。
- 都市 (タイムゾーン) やサマータイムの設定に関する詳しい操作は、ウェブサイトの取扱説明書 (操作ガイド) をご覧ください。

<https://world.casio.com/manual/wat/>

# ご使用上の注意

## ■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用 防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」 表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンドайビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スクーバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。



- 防水構造の機種でも、以下のご使用は避けください。  
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
  - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」リゅうずやボタンを操作すること
  - 入浴のときに使用すること
  - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
  - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをすると、石鹸や洗剤を使うこと
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用は避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。  
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

## ■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

## ■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

## ■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。  
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

## ■磁気

- (JIS 1 種耐磁時計) 日常生活において、磁界を発生する機器に 5cm まで近づけても性能を維持できる水準となっていますが、強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する機器に密着、あるいは近づけることはお避けください。針を動かすモーターへ影響を与えることにより針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因になります。
- 極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

## ■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

## ■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

## ■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

## ■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

## ■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。  
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

## ■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

## ■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

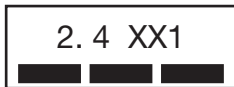
万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求について、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# 無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けていますので、無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けていますので以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 分解および改造すること
- 無線 LAN は、本機と同じ周波数帯 (2.4GHz) を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
  - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
  - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
  - 大型金属製家具の近く
  - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
  - 腕時計とスマートフォン等が別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

< 以下、ARIB（一般社団法人 電波産業会）に準ずる >

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS/FH-SS/OFDM 方式、DS-FH、FH-OFDM 複合方式以外の“その他の方式”です。また、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
  3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」にお問い合わせください。



# お手入れについて

## ■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- リゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、リゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押したりしてください。

## ■お手入を怠ると

### 〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

### 〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

### 〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

# 本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

# 金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

